

卒業生
だより

社会事業学部一回生の消息

私たちのクラスは、大正の末年に学窓を出ていますから、昭和と共にクラスの年輪を重ねてき、境遇もいろいろですが、クラス会でのめぐり合いは、とても楽しみです。

旧臘のある日、NHK会長と共にその夫人として、欧米旅行後、まもない永田初枝さんの宅で、クラス会するときなど、深津さんは浜松から上京。沖縄列島のなかの奄美大島に一年の大半を生活の田畑正香さんも、幸い、上京中なので勿論出席、世田谷の家庭幼稚園園長として人望厚い吉賀さん、いつもの静かな寒河江さん、佐久間ダムの近くのある高校で最近まで教鞭をとっていた松前さん、近く長女の結婚のよろこびにある福地さん、母校のためそしてクラスのためにいつも労を惜しまぬ大槻さん、それに童話の花田も加わり、夕方まで賑やかなことでした。

この日、私たちは永田さんの旅行談をいろいろきき、スライドでローマの風景に接したり、ローマ法王のそばに並んだ堂々とした永田夫人の写真をみたり、全く見たり、聞いたりで視野は拡がり、卒業後はじめて逢った中では「あなたは誰でしょう」というような一場面が瞬間生じるなど、多彩なことでした。

大槻さんは御主人のお仕事の関係で、北海道から九州まで転住され、桜楓会員に知友多く、若いころのよく消息の絶えていた北川さん(旧柿崎)のその後のことがわかつたのも、大槻さんが福岡にいた時の事です。このときなど丁度綿貫先生も福岡に講演旅行中だったため、大槻さん宅に集まり、学生時代をなつかしんだものです。去年の春のことでした。戦後八年間、大分の高校の教職にある相原さん上京のときは、吉賀さんの幼稚園でクラス会でしたが、この日のヒットは相原さんの八年間の経験談でした。「男女共学でしよう。こつちは女の教師だから、まず度肝をぬいておくに限ると思ひ、はじめつから生徒には敬称ぬきよ」などという相原さんには、いつか九州人らしい豪胆さがそなわつていました。

遠いところでは、日向、延岡市の県中央児童相談所延岡支所の角田さん、高知市の県庁には横山さんがそれぞれ活躍しています。神戸には日高さんが永年住まれ、日高さんを中心に二回の吉村とくさんなどの目白グループがあり、ここでもよく綿貫先生をお迎えしています。

東京でのクラス会にはいつも平塚の肥田さんや、裏千家の宗匠としても知られている大竹さんなどの顔ぶれがあり、浅草寺には、ロウケツ染にかけては玄人はだしの守山さん、浦和には人形つくりに妙技の河野さんが住んでいます。今なお美しい幸田さんは、戦争で御主人を亡くされ、戦後生活のため美容院を経営、一子は学習院大学部一年ですから御苦労もいましばしというところですよ。

一回生は、卒業後も綿貫先生とは方々で御縁故が重なつていきますので、今年は私たちのクラスで先生をお招きし、謝恩の会を開く相談を合っています。(花田記)

新制一回生だより

希望と不安を抱いて学窓をあとにしてから、もう六年たちました。私たちは卒業の際に毎年五月の最終の日曜日を「集いの日」と定め、毎回二十数人が集まつて日頃感じていることなどを語り合つております。

昨年五月の第六回目の集いは、アメリカで社会事業を研究して来られた松本先生をお迎えし、彼地での研究生活や学生生活をはじめ母校の近況などをうかがつたり、各人の近況を話し合いました。

私たちの共通の話題は、女性の働く「場」がますます狭くなりつつあること、また職があつても一般事務や雑用が多くて、働きたいのある仕事につくことがむずかしく、実質的な仕事は男子と同等であつても、給与が同一でないなどの意見が出まじたり、家庭婦人となつて現在はお子さんに手一杯のママさんも「子供が大きくなつたら何か社会に役立つような仕事を持ちたい」という抱負など、なかなかお話しは尽きません。私たちの場合、五十人の卒業者のうち三十七人まで就職いたしましたして、六年後の今日では二十五人在職いたしております。二十五人の内訳は社会事業関係五人、出版・映画・放送関係七人、教師三人、会社など一般事務方面十人となつており、そのうち十人はいわゆる共稼ぎをいたしております。その他の十二人は病氣や結婚のため一時的に職を離れましたが、一個の独立した人間としていつでも一人で歩けるよう心掛けながら生活いたしております。

私見で恐縮でございますが、私の場合両親が就職することを極力に反対いたしました為、また私自身を余り「働く」ことに対し希望も自信もありませんでしたので一旦就職しながら長続きせず、しばらく家庭におりましたが日増しに物足りなさが強くなりまして就職することを決心いたしました時には「職」がないという実状で、現在一般事務をいたしておりますが、出来まことなら社会福祉学科で学んだことを生かせるような職業につくとか、女性でなければ出来ないような職業分野をもつと開拓しなければ、否、開拓する余地があるように思われてまいりましたが、先輩の皆々様いかがでございますでしょうか。また現在勉学中の方々は、研究室の諸先生のあたためた御配慮のもとに、ますます充実してまいりました社会福祉学科のためにも科学的に女性の職業分野を研究して頂きたいと思ひます。私たちの就職状況は、別表の通りでございますが就職してから比較的長続きいたしますのは一個の専門家として独立した職責を果せる職業のように思われます。余り職業のことばかり申し上げてしまいましたが、私たちの一断面を御報告まで。

(田中記)

就 職 状 況

職 業	卒業直後 (昭和26年)	現在 (昭和31年)
	(人)	(人)
社会事業関係	9	5
出版・映画・放送	5	7
教師	2	3
紡績・舎	2	0
銀行・会社	17	9
銀 行	2	1
母 校	3	0
進 学	10	25
家 庭	50	50
計		